

皆さん、こんにちは。木村まゆみです。

八峰町に移住して1か月が経ちました。生薬を使った商品開発や産直の販売促進に取り組むためにこの町に来た私は、まだ土地勘もなく、何もわからない中で、カーナビに頼りながら町内を回っています。ときどき道に迷ってしまうこともあります。が、晴れの日が多く、海のキラキラした景色に癒されながら、101号線を北へ走る時間も楽しみのひとつになっています。

現在、私が一番大切にしているのは「八峰町を知ること」です。特に食には強い関心があり、どんな飲食店があるのか、どんな食材が育ち、どんなものが親しまれているのかを知りたくて、産直ぶりこさんに足を運ぶようになりました。そこでは、会員の皆さんが自ら現場を整え、売り場を工夫しながらお客様に喜んでもらえるよう日々努力されています。私はその取り組みに寄り添い、少しでも力になれたらと思いながら活動しています。売り場をより見やすくするために、商品の写真を撮影してPOPを作成したり、陳列の彩りや配置を工夫してみたり。皆さんが快く協力くださり、ありがたく感じています。

特に印象に残ったのが「笹もち」

です。私はてっきり「ちまき」のような三角形を想像していたのですが、八峰町の笹もちには四角い形。そして中には、あずき、かぼちゃ、黒糖、くるみなど、さまざまな味のおもちが入っていて、どれも色鮮やか。見た目にも美しく、素朴な甘さに心が和みました。これが八森の新名物として、もっと多くの方に親しまれるようになると嬉しいなと感じています。

今後も、会員の皆さんの前向きな取り組みを見守りながら、必要ときにサポートができるよう努めていきたいと思っています。毎週少しずつの変化ですが、気づいてくださる方がいたら、ぜひ教えてください。暑い日が続いていますが、体調管理にはくれぐれもご注意ください。特にこの時期は食欲が落ちがちですが、食事は健康の基本です。無理して食べる必要はありませんが、少しずつでも口に入れていくことが大切です。1週間単位で栄養バランスが取れていれば大丈夫、というくらいの気持ちで、気楽に考えていただければと思います。年齢を重ねると、「食べること」も大切なお仕事です。食べることの大切さも、今後皆さまにお伝えしていけたらと思っています。



こんにちは 赤ちゃん

金田 琉生 (八森)

【透・美里 長男】

赤川 穂乃夏 (萩ノ台)

【智哉・真依子 長女】



おくやみ

佐藤 トシ (99) 本館

佐藤 隆 (81) 八森3

善意をありがとう (敬称略)

八峰町社会福祉協議会へ

【香典返しにかえて】

工藤 ゆきみ (椿台)

亡祖母 ミヨ

佐藤 富男 (本館)

亡母 トシ

厚くお礼申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

人の動き

(7月31日現在)



人口 5,993人 (14人減)
男 2,827人 (7人減)
女 3,166人 (7人減)

異動内訳

出生 2人
死亡 5人
転入 4人
転出 15人

世帯数 2,920世帯 (8世帯減)

(一)の数字は前月との比較。この数字は住民基本台帳に基づいています。(外国人を含む)

マンガで気づいて ジェンダーギャップを解消しましょう!

#3 自治会の役員は男性に決まってる?

【POINT】 会長や役員は男性が向いていると決めつけていませんか?

女性が自治会の運営に関わることで、担い手不足の解消や、多様な視点が入ることによる地域防災力の向上にもつながります。

おらほの館

今月の旬情報 梨、ぶどう

イベント 9/14 秋の大感謝祭

地元の野菜で 夏を乗り切ろう!!

八峰町峰浜沼田「道の駅」となり よろしく

☎76-4649

お薬のこと、健康のこと...etc 何でもご相談ください!

皆川薬局

八峰町峰浜水沢字稲荷堂後120-6 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

秋田県民のみなさま 限定! 12/26まで

エアコン (1台) ★2以上3未満 15,000円 (15%OFF) ★3以上 20,000円 (20%OFF)

冷蔵庫 (1台) ★2以上3.5未満 15,000円 (15%OFF) ★3.5以上 20,000円 (20%OFF)

協賛店で購入した場合 最大5,000円 プレゼント!

当社は購入応援地域協賛店です!!

補聴器(消費税免除) (管理医療機器販売業届出 第03-404361号)

SELA グループ Panasonic SELA シロキ エルポート シロキ

八峰町八森字中浜 TEL77-2323・FAX77-2324

新車・中古車販売(国産全メーカー) 車検・定期点検・钣金塗装

沢目自動車

TEL76-2065 FAX76-3280 沢目駅前

CSレター コミュニティ・スクールからこんにちは

～「三方よし」の授業です!～

今回は、地域の方が、サポーターとして子どもたちにかかわった授業の様子をお知らせします。つまり、授業の主人公である子どもたち、また、ねらいの達成に向けて授業を進める先生、そして、実際に授業に入って子どもたちの指導やサポートに当たる地域の方々、と3つの立場でつくる授業のスタイルです。その中から、7月8日(月)に実施した八森小学校5年生の家庭科の授業を紹介します。

この授業では、ほとんど初めて針と糸を持つ子どもたちが、玉どめ、玉結びの復習に加え、なみ縫いや返し縫いなどに挑戦する内容でした。8人の子どもたちが3班に分かれ、地域の方3名がそれぞれの班を担当して、ほぼマンツーマンの状態で指導にあたりました。2時間続きの授業でしたが、あっという間でした。

「越前谷裕子先生へ お元気ですか。7月8日に家庭科でお世話になった田森結美です。私は今まで玉どめができなかったけれど、教えてもらってできるようになりました。他にもかがりぬいを教えてもらって、夏休みの工作でフェルトを使った工作を作るのが楽しみになりました。ぬい方を教えてくれてありがとうございました。」

これは、授業後の子どもからのお礼の手紙です。文面からは、子どもの大きな達成感と喜びが伝わってきますね。

一方、指導にあたった地域の方は「最初は教えることができるか不安もあったけど、やってみたら、案外うまくいきました。何よりも、子どもたちと活動するのがとても楽しかったです。」とおっしゃっていました。さらに、担当の先生は「地域の方々が指導してくれたおかげで、一人一人へのきめ細かな指導が可能になりました。私一人だけでは、なかなかこのようにはいきません。本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を述べていました。

このように地域の方が授業にかかわることによって、授業改善が図られることに加え、子どもたちはもちろんのこと、地域の方にも、そして先生にも、3者三方それぞれに利点があることを確認できました。ありがたいことです。CSディレクターとして、これからもこのような授業づくりを後押ししていけるよう努めてまいります。

